

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、野川小、南野川小、
 おやじの会、すずの会、一葉会、青少年指導員、
 地区民児協、地区社協、野川こ文ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局
 代表



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから12年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

「あいさつの輪」を相手意識で広げよう！

西野川小学校 校長 白坂 雅妃子

あいさつは「おはようございます」以外にも、「こんにちは」「お世話になっています」「お久しぶりです」等々、たくさんあります。また声には出さずとも、会釈をしたり笑顔を返したり。つまり時と場を考えて、今はどのあいさつが適切かを判断することが必要となります。そこで大切なのが、相手意識です。

地域でのあいさつが浸透していくまでには、時間を要します。だからこそ、子どもの時から色々な人と進んであいさつをしていく経験は大切です。あいさつは、する側にもされる側にも相手意識があるだけで伝わり方が変わっていくと、改めて感じさせられます。

元気な声に相手意識が加わると、心のこもったあいさつとなり、「知らなかった人は、あいさつを交わす人」に変わっていきます。継続して行ってきたこの取り組みを通して西野川では少しずつ地域の方とのあいさつも広がってきています。さらに相手意識を大切に、「あいさつの輪」が今後も広がっていくことを願っています。

地域の中の野川中学校

野川中学校 校長 堀川 芳夫

昨年11月18日(土)PTA主催のバザーが開催されました。2年後の創立40周年に向けて実施されたものです。PTA、竹葉会 (PTA・OB会)、生徒・教職員が協力し運営する中で、多くの地域の皆様に参加していただきました。久しぶりのバザーということで多少の不安もありましたが、販売されたものを美味しそうに食べる姿や太鼓演奏・吹奏楽部のコンサート等に楽しそうに参加している姿を見て嬉しく感じると共に、地域の皆様に支えられていることを改めて実感しました。バザーのお礼ではありませんが、11月25日(土)には、地域教育会議主催で地域清掃活動を地域の皆様と生徒・教職員が一緒になって実施することが出来ました。当日、清掃していると飛び入りで参加してくれる方もあり、ここでも地域の皆様の支援の有難さを感じました。

これからも中学校としては、地域の皆様と共に野川の子供たちを見守り支えていきたいと思っています。よろしくをお願いします。



西野川小学校の朝のあいさつ運動

めっちゃ楽しいサッカー教室！

川崎フロンターレ・スクールコーチ来校

昨年「リーグで優勝した川崎フロンターレのスクールコーチ二人が、正月早々、西野川小学校に来校。

学校の授業のひとつとして、毎年「ふれあいサッカー教室」の開催をお願いし、今年も4年生が参加。ありがとうございます。元気のよいあいさつ、そしてドリブルやパス回しの練習の後、男女に分かれ、男子は湯浅コーチ、女子は加藤コーチのもとで、練習試合が始まりました。ボールを蹴るのが楽しくて仕方ない子、仲間にパスをするのが得意な子、夢中になってゴールめがけてドリブルする子、みんなそれぞれ、思い思いに楽しんだ45分、“めっちゃ楽しかった”の声が多く聞かれました。両コーチも要所毎に声をかけてサポートする以外、伸び伸びとサッカーの練習を楽しませてあげようという配慮が伺えました。そして試合終了後、コーチから「サッカーは仲間と協力し合って最後まで諦めないことが大切なのです」とのお話があり、みんなの心が一つになりました。



加藤コーチ、湯浅コーチ



めっちゃ楽しい！



支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



宮前警察署との合同防犯パトロール

— あいさつの飛び交うまちに犯罪なし —

昨年10月12日「神奈川県安全・安心まちづくり旬間」に合わせて、宮前警察署、宮前区役所の指導の基に、自治会、西野川小学校PTA、野川こども文化センター等30名が、2班に分かれてパトロールを実施。

泥棒が犯行をあきらめる理由として、「近所の人に見られたり、声を掛けられたから」を一番目に挙げているとのこと、やはり人の絆やつながりの強い地域は、空き巣などの犯罪の発生が少ないとのこと。その意味でも、公園の樹木の剪定やゴミ置き場の清掃、放置自転車の撤去などのきれいな街づくりに努めることが犯罪の温床化を防止することにつながります。



パトロールの心得



青色回転灯車と合同パトロール

入る子もありますが、だれもが、気持ちの良い一日をスタートするきっかけになっているようです。

「おはよう」は一日の中で、人と人が最初に関わり出す言葉。この短い言葉から、コミュニケーションが始まります。この取り組みを通して、自然にあいさつができる子が増え、朝だけでなく、日中、廊下ですれ違う時にも「こんにちは！」という声が聞こえるようになってきました。「あいさつ運動」は明るい学校づくりの柱となっています。



野川小学校の朝のあいさつ運動

威勢よくねり歩く“お神輿”

10月8日、野川神明社の「例大祭」の日に、「わっしょ、わっしょ」の掛け声をかけながらねり歩き、時にはあらあらしく揺さぶる「お神輿」は、地域の災いや災難を取り除いてくれると言われていました。野川台の公園は、毎年、そのお神輿の担ぎ手の大切な休憩所のひとつを担っています。



野川お囃子(おはやし)保存会



荒々しくゆさぶるお神輿

「おはよう」は、魔法のことば！

野川小学校 教諭 岡 信行

「おはようございまーす！」

今朝も、野川小学校の校門では、子どもたちや校長先生や地域の方々が、登校してくる子どもたちを、元氣なあいさつで迎えています。これはクラスごとに順番に立つ「あいさつ運動」。迎える子どもたちは、登校して来る子どもたちを励ますように、大きな声を張り上げ、迎えらるる子どもたちは、元氣にあいさつを返す子もいれば、恥ずかしそうに、うつむいて正門に

“災害に備えて” 日頃から

宮前区保健福祉センター 副所長 高階 清策

東日本大震災や熊本震災などの経験を風化させることなく、備えるためには、あいさつ運動をはじめとした日頃からの地域での触れ合いや顔の見える関係づくりが欠かせません。

宮前区では、今年度、総合防災訓練の中で災害発生時に避難所生活などで支援が必要な高齢者・障害者等の方々を想定して、避難所での要援護者訓練を実施しました。体育館での集団避難生活では支障のある感染症の方・介護の心配な方、障害のある方などのトリアージ訓練や空き教室を利用した福祉避難室設置、福祉施設を活用した二次避難所への誘導・開設訓練などを地域の皆様、避難所となる中学校に通っている生徒の皆さん、施設職員の方々が主体的に関わっていただきました。あいさつ運動は、災害時に支援が必要な方々とのきっかけづくりとなると共に、まさしく本市が目指す地域包括ケアシステムそのものです。これからも輪が広がり未来に続く架け橋となることを期待しています。



西蔵寺公園の十月桜(冬ざくら)



ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



みんなで考えたあいさつ運動の「標語」!

— 野川地域の三つの小学校の児童の作品 —

野川中学校区の三つの小学校の校長先生のご協力を頂いて、各学校毎のあいさつ運動の標語づくりに挑戦して頂きました。作成は各学校の「児童委員会」等が中心となって取り組み、それぞれ心のこもった作品の中から一点を選んでいただき、学校毎の標語シール作成しそれぞれ児童に配布しました。(三校合計1600余校)。



- ◎あいさつで ひとつの笑顔が 生まれるよ (野川小学校)
- ◎あいさつで 笑顔あふれる 南野川っ子 (南野川小学校)
- ◎あいさつは 心と心をつなぐ糸 (西野川小学校)

あいさつ運動の思い!

✿ あいさつ運動が、すごく楽しいです。どうしてかと言うと、あいさつすると「おはようございます」と返してくれるからです。(3年)

✿ 朝から大きな元気な声であいさつすると、「あーねむい」というのがなくなり、シャキッと「今日もがんばるぞ!」という気持ちになります。もっと朝以外も、ちゃんとあいさつがしたいです。(4年)

✿ あいさつ運動の人が立っていると、明るく学校に来ることができるので、いいと思います。他人でも家族みたいにあいさつが出来て気持ちがいい。これからもあいさつ運動を通じて、みんなとつながっていきたいとおもいました。(5年)

✿ この運動をすることで、地域の人たちと交流もできるし、低学年の人とも少し仲良くなれると思います。それにあいさつすることで、気持ちよく教室に向かえます。(6年)

(三校の児童にアンケート調査をさせて頂いた際の、無記名の自由意見欄の声)



あいさつで つながる心

南野川小学校 教務主任 吉田 祐子

「あいさつは心と心をつなぐリボン」という言葉があります。南野川小学校であいさつ運動に積極的に取り組むようになってから、私自身も校内ですれ違う子

どもたちと、意識的にあいさつを交わすようにしてきました。朝、校門では「おはようございます。」と元気にあいさつできる子が多いのですが、それ以外の場所では難しいようです。階段や廊下では友達とのおしゃべりや次の活動のことで頭がいっぱいなようで気づいてもらえないことも多いのですが、めげずに声をかけています。時折、こちらを気遣いながら「こんにちは。」と少しはにかみながらあいさつしてくれる子ども達が出て、本当に心が温かくなります。

あいさつがつなぐ「心」には、「受容」「感謝」「励まし」など、その時々様々なものがあると思います。校内だけでなく、地域においても、あいさつを通して相手を気遣う「心」を表せる子どもたちになってほしいと思います。



南野川小学校の朝のあいさつ運動

ウォーキングの人も思わずにっこり

宮前区まちづくり協議会では、区内のまちづくり活動を知っていただくことを目的に、市民活動団体やまちの施設・資源等を紹介する区民参加の「まちづくりウォーキング」を年2回開催しています。今回、私たちが野川台を歩いたのは、紅葉始まる10月27日の午後でした。野川老人いこいの家で、「あいさつ運動」の主旨を説明いただき、そこから梅の木坂、影向寺、野川神明社へと散策。まち歩きも終盤の西蔵寺の辺りに差しかけた頃、下校中のすれ違う児童・生徒の「こんにちは!」と元気な声。それも一人ではなく、急坂を登ってくる子ども達も、次から次に挨拶してくれます。参加された区民の方々も、「こんにちは」と思わずニッコリ。野川ウォーキングは、心温まるこの素敵な活動が定着していることを実感し無事終了。また参加したいとの声を多数いただきました。気持ちのよいあいさつが響く野川は温かな魅力がいっぱいでした。(宮前区役所地域振興課 加藤)



西蔵寺前にて

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

野川中学校の体験学習会の開催！

—三つの小学校の6年生参加—

「6年生の皆さん、野川中学校によろこそいらっしやいました！」と間々田生徒会長のあいさつで、野川中学校体験学習会が体育館で始まりました。

1月18日は野川小学校の6年生、翌19日は、西野川小学校と南野川小学校の6年生と二つに分けて行われました。体験学習会は、生徒会と先生方とで一緒に企画運営されたとのこと、当日1時40分から「学校紹介ビデオ」の後、9教科(16の分会)に分かれて授業体験、その後、2時から20の部会に分かれての活動体験。引率してくださいました小学校の先生方も、いつもより、緊張しているようですねとお話でしたが、体験終了後の児童の感想として、「先生の話が、新鮮で面白く、すごく楽しかった」、「部活動で、先輩がみんな優しく、話しかけてくれたので嬉しかった」、「中学に入ったら、勉強もクラブ活動も大変かなと思いますが、友達と一緒に頑張ります」という声も聞かれました。この体験学習会をきっかけに4月に向けての心の準備につながればよいですねとの中学校の校長先生のお話がありました。



すごく楽しかった！



クラブ活動の体験

“県大会を目指す”女子バレー部

野川中の女子バレー部員は、どの人も中学に入ってから、初めてバレーをはじめた人で言わば“素人の選手の集まり”。でも毎日の30分の朝練、放課後の練習、そして休みの日の練習をコツコツ積み重ね、今では県大会出場を目指すチームに成長しています。

この1月に開催された川崎市新人戦では川崎中学校と対戦、日頃の練習通り、よく声を出し合い、よく拾い最後まで頑張る野川魂を発揮し、2：0のスコアで快勝。しかし2回戦の塚越中との対戦では、川崎中との勝利の余韻が残っていたのか、いつもの元気な声で、拾うチームプレイに乘れず、ズルズルと点差が開き、2セット先取され惜敗。この悔しさの中で、我が身を三省し、今ではいつものペースに戻り、練習、練習。新学期には、伝統の野川魂のチームワークのもとにさらなる活躍が



アタックで決める！

期待されています。(顧問は、柴山先生、重田先生)

“青空へつづる手紙” 演劇部の熱演

「ある病院の小児病棟が舞台。難病を抱える子どもたちが、喧嘩をしたり、自らの境遇を不幸に思ったり、悩み衝突する中で、ある日突然、男の子が白血病で亡くなりました。それをきっかけに、「辛いのは、自分だけじゃなかった」と気づき、自分の置かれている境遇を受け入れる中で、自然に今までの誤解が溶け、そして亡くなった友達に手紙を着けた風船を空に飛ばし、“ぼくたちも頑張るから、天国で見てね”と…。命をめぐる子どもたちの思いを表した演技は、多くの生徒の心の琴線に触れ、万雷の拍手が鳴りやまない素晴らしい舞台になりました。

夏からこの芸術祭の日まで、役をやる人も、裏方さんになる人も、心をひとつにして、一寸した場面にも、こだわりをもち、お互いに納得いくまで演技を積み重ね、今日の晴れの舞台に臨んでいたとのこと。(顧問は、小西先生、津田先生)



“青空へつづる手紙”

男子生徒“高齢者福祉施設”で職場体験！

野川中の男子生徒4名は、それぞれの思いをもって社会福祉法人寿楽園のデイサービスセンター等で職場体験。初日の午前中は居室の掃除、午後には、デイサービスに来られたお年寄りと一緒にゴムバンドを使ったストレッチ体操や脳トレゲームなどのお手伝いに一生懸命。それでも4名とも、お年寄りがスタッフと一緒に体操やゲームに興じる姿が、明るく楽しそうで、今まで自分たちがイメージしていた高齢者像とは、大分違った印象を覚えたとのこと。担当の矢代さんから、初日は緊張した様子でしたが、挨拶もしっかりしてお年寄りに好感を持たれていましたよ！そして周りのスタッフから、「お年寄りに接することで、なにかを掴んでくれたら嬉しいですね！」との話がありました。

(担当は、牟田課長、矢代さん)



職場体験！

編集後記

あいさつ運動の標語づくりやアンケート調査について、各学校の校長先生にご協力を頂き、また作成に際し、公益財団法人キリン福祉財団にご支援を頂きましたことに対し改めて感謝申し上げます。さらにはあいさつ運動は、地域包括ケアシステムそのもののお言葉頂き心強く思っております。

(日高、原、狩山、櫻井、辻本、前之園)